

プロロジス、運営中の物流施設で 自社初となる定置用蓄電池の稼働を開始

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内、代表取締役会長 兼 CEO:山田 御酒)は、埼玉県草加市で運営中の物流施設「プロロジスパーク草加」において、大型定置用蓄電池の稼働を開始したことを発表しました。蓄電池は、株式会社パワーエックス(本社:東京都港区、取締役 代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕)の「Mega Power」を使用。施設の電力系統に直接接続し、入居顧客の電力が逼迫した際の供給を可能とします。



プロロジスとして初めて蓄電池を導入した「プロロジスパーク草加」

今回、プロロジスパーク草加に設置したコンテナ型定置用蓄電池およびエネルギーマネジメントシステム(EMS)は、蓄電池の最適な充放電制御を可能にし、ピークシフト¹・カット²による施設のエネルギー効率の向上を目指します。

大型定置用蓄電池の稼働はプロロジスとして初めてです。大型マテハン機器や冷蔵庫、EC自動化物流センター等の電力多消費ニーズにも対応できるほか、気温上昇などにより急激に電力需要が増加した際や発電機が故障して電力供給力が低下した際にも、安定した電力供給が可能となります。

¹ 電力需要が低い時間帯に電力を蓄え、ピーク時に利用すること

² 電力需要が最も高い時間帯の使用量を減らすこと

Mega Power

【サイズ】 20 フィートコンテナ(ISO 規格)

【電池種類】 リン酸鉄リチウムイオン(LFP)

【蓄電池容量】 2742 kWh (公称値)

【生産地】 岡山県玉野市



プロジスは今後も、電力グリーン化推進や事業運営における環境負荷軽減に取り組むとともに、エネルギーマネジメントを通して顧客のサステナビリティに関する目標達成をサポートします。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム

<https://prologis.form.kintoneapp.com/public/inquiry-media>